




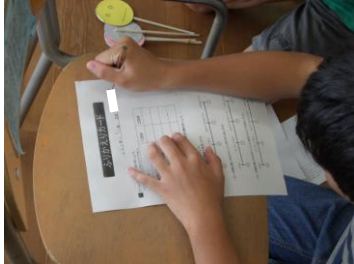





★やってみる（リハーサル）段階の展開例★

リハーサルでは、モデリングのよい例で示されたスキルを繰り返し練習します。

小学校：⑤仲間の誘い方

<p>1. 準備</p>	<p>グループ内で、誘う役（A）、誘われる役（D）、オブザーバー役（B、C）の役割と順番を決める。</p>
<p>2. ロールプレイ1</p> <p> ソーシャルスキルを使う経験をします。児童生徒が実際にロールプレイに取り組むことで、ただ知識として知っているだけではなく、実際の場面で感じる緊張や不安を克服して、そのスキルを行動に移すための自信を付けることができます。</p> <p></p>	<p>1回目のロールプレイを行う</p> <p>よい例のシナリオを基に、ポイント（①相手に近づく②相手を見る③相手に聞こえる声で④笑顔で）を意識して全員がどの役も1回ずつ行う。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>「⑤仲間の誘い方」シナリオ例</p> <p>A 昨日「〇〇(テレビ番組名)」見た？</p> <p>B 見た見た。△△(登場人物名)おもしろかったね。</p> <p>C うち、お母さんが「□□(テレビ番組名)」を見ていたから、見られなかった。△△どうだった？</p> <p>B △△おもしろかったよ。</p> <p>A (ひとりぼっちでいるDの様子に気付く。)</p> <p>ねえねえ、Dもおいで・・・一緒に話そう。</p> <p>D うん いいよ。(AはDを連れてはいっしょにグループに入る。)</p> </div> <p></p>
<p>3. 話し合い</p> <p> 1回目のロールプレイを行った後、自己評価や他者評価を行います。2回目以降のロールプレイではポイントをさらに意識したり、紹介したポイント以外のことにも取り組んだりすることを目指します。</p> <p></p>	<p>1回目を終え、他者評価・自己評価を行う</p> <p> </p> <p>オブザーバー役は、よくできている点に注目し、4つのポイントうちできているポイントが1つか2つであればふつ々の顔のカード、3つか4つであれば笑顔のカードを出して評価を行う。グループ全員のロールプレイが終わってから、振り返りカードに自己評価を記入する。どのような誘われ方をすると嬉しいか、グループや全体で話し合い、よいスキルを意識させる。</p>
<p>4. ロールプレイ2</p> <p> 何度も繰り返し練習することで、学んだスキルが日常生活で使えるように取り組みます。</p> <p></p>	<p>2回目のロールプレイを行う</p> <p>上手だった人のよいところを取り入れることや、できるスキルのポイントを増やすことを意識させながら、1回目と同様に進める。</p> <p>※2回目のシナリオは1回目と同じでもよいし、場面を変えたものでもよい。</p>